

都道府県・ 指定都市番号	1 3	都道府県・ 指定都市名	東京都	研究課題番号・校種名	1 高等学校
				教科名	国語
研究課題	学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善に関する実践研究 ○「書くこと」又は「読むこと」において、主として創造的・論理的思考の側面から思考力、判断力、表現力等を効果的に育成する学習・指導方法及び学習評価の工夫改善についての研究				
ふりがな 学校名（生徒数）	とうきょうとりつひろおこうがっこう 東京都立広尾高等学校（634人）				
所在地（電話番号）	03-3400-1761				
研究内容等掲載ウェブサイト URL	<a href="http://www.hiroo-h.metro.tokyo.jp/">http://www.hiroo-h.metro.tokyo.jp/</a>				
研究のキーワード	○創造的・論理的思考力 ○実社会や実生活で生きて働く資質・能力 ○「国語総合」の「読むこと」の指導と評価の改善				
研究結果のポイント	○ 学習指導要領や関連する文献研究と生徒を対象とした調査研究により、「国語総合」で育成が求められている創造的・論理的思考力について明らかにした。 ○ 「国語総合」の「読むこと」の領域における、創造的・論理的思考に関わる思考力、判断力、表現力等を効果的に育成する年間指導計画を作成し、その有効性のための検証授業を行った。				

## 1 研究主題等

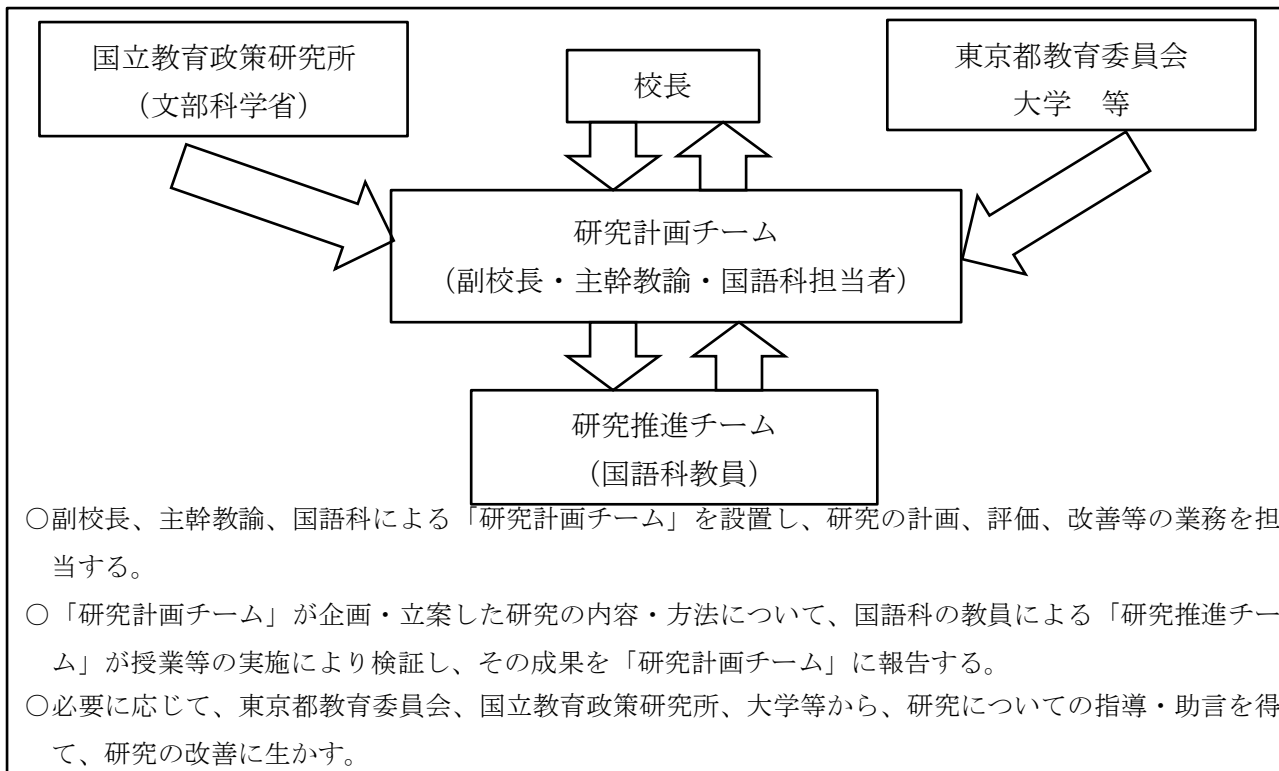
### （1）研究主題

実社会や実生活で生きて働く創造的・論理的思考力を育成するための「読むこと」の指導と評価の在り方

### （2）研究主題設定の理由

実社会や実生活においては、データや文章などが混在した資料の内容を正しく理解し表現する資質・能力が必要とされている。しかし、その資質・能力を育成するために、文章や情報を相互に関連付けながら的確に読み取るなどの指導について、高等学校の国語科では十分に行われていないと考える。同様に、実社会や実生活で必要とされる、文章などを読み取ってその論理の妥当性を評価したり、文章などから情報を収集して精査することを通して、自身の論理を構築したりする資質・能力を育成する指導についても十分ではない。そこで、本研究では、実用的な文章やデータを含む様々な文章などを読んで、自分の考えを深めて話し合ったり、それらを読み比べて、その内容や書き手の意図や表現について評価する文章を書いたりする言語活動などを通して、実社会や実生活で生きて働く、国語科における創造的・論理的思考力を育成することを目指す。具体的には、創造的・論理的思考力の定義づけと、その育成のための年間指導計画の作成と、その計画に基づいて設定された単元における指導と評価の在り方を主たる研究の内容とする。そのことを踏まえ、学習指導要領や言語の創造的・論理的思考の側面などにも基づきながら、様々な文章やデータなどを分析する力や解釈する力などを高めることで、実社会や実生活で生きて働く国語の資質・能力としての「読むこと」の思考力、判断力、表現力等を育成することをねらいとする、本研究の主題を設定した。

### (3) 研究体制



### (4) 1年目の主な取組

平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究主題・研究の内容・研究計画の立案。</li> <li>○創造的・論理的思考力の定義づけ（文献研究）。</li> <li>○創造的・論理的思考力に関する生徒の実態調査（調査研究）。</li> <li>○創造的・論理的思考力の育成を目指す年間指導計画の作成。</li> <li>○年間指導計画に基づく単元の指導と評価の計画の作成と実施（検証授業）。</li> </ul>
--------	---

## 2 研究内容及び具体的な研究活動

### (1) 研究内容

#### ① 学習指導要領における創造的・論理的思考力

はじめに、本研究における、創造的・論理的思考力を明らかにするため、「国語総合」における創造的・論理的思考力が、学習指導要領ではどのように示されているのかについての研究を行った。「国語総合」における創造的・論理的思考力は、国語科での「思考力、判断力、表現力等」である、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」のすべての領域において、学習指導要領に示されている。

「A話すこと・聞くこと」では、内容の(1)の「話題について自分の考えをもつことや論理の構成や展開を工夫すること」に関する「ア」が、創造的・論理的思考力を育成するための指導事項である。具体的には、「ア」の「根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫」の部分が該当すると考える。学習指導要領解説によると、論理とは考えの筋道の通し方であり、「ア」の指導事項により育成される資質・能力は、確実な論拠に基づき、論理的に、分かりやすく、簡潔に、過不足なく意見を述べることでありとされている。

「B書くこと」では、「論理の構成や展開を工夫して書くこと」に関する「イ」が、創造的・論理的思考力を育成するための指導事項である。具体的には、「論理の構成や展開を工夫」の

部分が該当すると考える。学習指導要領解説によると、「イ」の指導事項により育成される資質・能力は、書き手が自らの思考の進め方を整理して文章の組立てていくことであるとされる。そのためには、自分の考えが論の成り立つ根拠に支えられ、前後矛盾することなく展開されるよう、文章の組立てや進め方、論を統括する位置などによる文章の型を工夫し、文章を組み立てていく必要があるとも述べられている。

「C読むこと」では、「文章を的確に読み取ること、要約や詳述をすること」に関する「イ」と、「表現の仕方を評価すること、書き手の意図をとらえること」に関する「エ」が、創造的・論理的思考力を育成するための指導事項である。「イ」の指導事項については、具体的には「叙述に即して的確に読み取る」部分が該当すると考える。このことは、学習指導要領解説によると、読み取りが恣意的なものとならないよう、文脈をとらえ、語句や表現に注意し、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく理解することであるとされている。また、「エ」の指導事項については、具体的には「文章の構成や展開を確かめ」る部分と、「書き手の意図をとらえ」る部分が該当すると考える。学習指導要領解説によると、「文章の構成や展開を確かめ」ることは、書き手や文章中の人物のものの見方や考えの進め方をとらえることであるとされる。文章を的確に理解するためには、文章の組立てや骨組みをとらえる「構成」を確かめることと、考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道をとらえる「展開」を確かめることの両方が必要になるとも述べられている。

## ② 先行研究における創造的・論理的思考力

先行研究において、創造的・論理的思考力がどのように定義付けをされているかを踏まえ、本校における創造的・論理的思考力の定義付けを行うことにした。

本校では、難波博孝氏の研究（「論理/論証教育の思想（1）～（4）」『国語教育思想研究』2009～2012）を踏まえ、論理とは「因果関係を表すもの」であるとした。その他の文献研究を次年度以降も継続して行い、本校における創造的・論理的思考力とは何か考察することを、次年度以降も引き続き課題として研究していく。

## ③ 創造的・論理的思考力の育成を重視した年間指導計画の作成

上記①と②を踏まえ、創造的・論理的思考力の育成を重視した「国語総合」の年間指導計画の作成を行った。作成においては、研究主題である「読むこと」の指導と評価の在り方を中心として、創造的・論理的思考力を育成するための「読むこと」の指導事項に基づく単元を年間通して螺旋的に設定した。また、同単元を2学期の後半に集中的に設定した。

「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の単元を、定期考査間に計画的に設定するようにした。

### （2）具体的な研究活動

#### ① 創造的・論理的思考力に関する生徒の実態調査

「国語総合」で育成が求められている創造的・論理的思考力を学習指導要領から明らかにするとともに、本校1学年の生徒を対象とした、創造的・論理的思考力に関する生徒の実態調査を行った。具体的には、学習指導要領の各指導事項に基づいてアンケートを実施し、生徒の実態・課題の把握を行った。

「読むこと」の指導事項において、ウ「文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと」に基づいた「小説を読んで、文章に描かれた風景や景色を正確に頭の中にイメージすることができますか。」という問いには、約7割の生徒が肯定的な返答をした一方

で、指導事項エ「文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方を評価したり、書き手の意図をとらえたりすること」に基づいた問い「文章を読んで、文章の構成や表現などの良し悪しを判断することができますか。」「文章の構成や展開を読み取り、書き手の意図を読み取ることができますか。」では、7割の生徒が「いいえ」「わからない」という否定的な返答をし、特に4割近くの生徒が「わからない」という返答をしている。

このことから、本校生徒は、文章を読み、そこに何が書かれているかは読めるものの、書かれたものの中から、「原因—結果」や「主張—根拠」の関係を見付け出すこと、そして、見付け出した作者の主張がどのように論証されているかを評価することに課題があった。そこで、年間指導計画を作成する際に、特にその点に重点を置いた指導ができるように、複数回単元を配置し、繰り返し指導をすることとし、3学期に集中して指導ができるような指導計画を作成した。

## ② 年間指導計画を踏まえた単元指導計画の策定と実施

作成した年間指導計画に基づき、特に創造的・論理的思考力の育成を目指した単元を取り上げ、検証授業を実施した。今年度の前半は、文献研究と調査研究、それらを踏まえた年間指導計画の作成に取り組んだため、検証授業については、3学期の「漢文を読んで書き手の意図をとらえる」の単元のみ実施をした。単元の概要は、漢文の読み比べを行い、そこに描かれている思想を比較し、書き手の意図をとらえる学習を行った。

漢文の訓読、解釈を通して漢文に何が書かれているかを把握した後で、その文章が書かれた時代の状況を確認し、作者がどのような思考からそれらを残したかを生徒に考察させた。また、現代の研究者や作家が解釈している文章を比較して読む活動を行った。

## 3 研究の成果と課題 (○成果●課題)

- 「国語総合」で育成が求められている、本校の生徒の創造的・論理的思考力についての課題を、実態調査の実施とその分析により明らかにすることができた。
- 「読むこと」における創造的・論理的思考力を、効果的に育成するための年間指導計画を作成することができた。
- 学習指導要領を含めた様々な文献研究を継続し、本校における創造的・論理的思考力の定義を明確にする必要がある。
- 創造的・論理的思考力を育成する観点から、年間指導計画の有効性を検証し、必要に応じて改善する必要がある。
- 創造的・論理的思考力の育成の実現状況を適正に見取る評価方法について、ペーパーテスト等を含めた研究の必要がある。

## 4 今後の取組

創造的・論理的思考力の育成を目指す年間指導計画に基づく単元の検証授業を継続して実施することで、年間指導計画の有効性について研究を進める。自分の考えの形成等を重視したり、見通しや振り返りの活動を取り入れたりするなどの活動を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と教材開発を進める。なお、検証授業における学習評価については、目標に準拠した観点別学習状況の評価とし、指導の改善に生かす。さらに、思考力、判断力、表現力等を適切に評価するペーパーテストの研究にも取り組んでいく。